

3月 定例会

平成22年第1回定例会は、3月2日招集され、16日までの15日間の日程で開催されました。市長から提出された案件は条例制定4件、条例の一部を改正する条例12件、廃止する条例1件、平成21年度一般会計及び特別会計補正予算15件、平成22年度一般会計及び特別会計当初予算29件、人事案件6件、その他2件、専決処分承認1件でした。ほかに、議員発議として条例の一部を改正する条例1件、意見書2件でした。これらの案件は、一部を除き所管の常任委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案どおり可決しました。

一般質問では11名の議員が質問に立ち、市当局の考えを質しました。

また、議員の4年間の任期満了を4月30日に迎えるため「サヨナラ議会」となりました。

条 例

伊達市さわやか現道整備基金条例の制定

市道の整備を推進し、安全な生活環境の確保を図るための基金設置のため、新たに条例を制定しました。

伊達市環境基本条例の制定

環境の保全等について基本理念を定め、市民の健康で文化的な生活の確保及び地球環境の保全に寄与するため、基本的施策等について新たに条例を制定しました。

伊達市高齢者自立支援事業負担金条例の制定

地方自治法第224条の規定により、本市が実施する高齢者自立支援事業の利用者負担額を定めるため、新たに条例を制定しました。

例を制定しました。

伊達市法定外公共物の管理に関する条例の制定

法定外公共物の管理の規定を明確化し、使用の適正化を図るため、新たに条例を制定しました。

伊達市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

農地法の改正に伴い、標準小作料の設定が廃止されたこと、並びに、月館町史の編纂が終了したことにより関係する委員の報酬を廃止するため改正しました。

伊達市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会勧告に準

拠し、職員の勤務時間、超過勤務手当の取扱いを変更するため改正しました。

伊達市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

職員の勤務時間、超過勤務手当の取扱いの変更に関連し、勤務1時間当たりの給与額、超過勤務手当の支給割合を変更するため改正しました。

伊達市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

職員の勤務時間の改正に伴い、育児短時間勤務職員の1週間当たりの勤務時間を変更するため改正しました。

伊達市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

特別職報酬等審議会の審議

結果を踏まえて、市長等の給与月額を減額する改正をしました。

伊達市教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

特別職報酬等審議会の審議結果を踏まえ、教育長の給与額を減額する改正をしました。

伊達市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

特殊勤務手当の見直しにより、つぎだて花工房職員の特殊勤務手当を廃止するため改正しました。

伊達市消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例

消防団による消防組織検討会でなされた提案を踏まえ、消防団の定数及び組織体制を現状に即したものにし、本部体制の充実を図るため改正しました。

伊達市畜場条例の一部を改正する条例

市民が利用する畜場使用料の統一化、畜場の管理運営規定について変更をするため改

正しました。

伊達市重度心身障がい者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例

身体障害者福祉法施行令の改正に伴い、重度心身障がい者の定義に肝臓の機能に障害を有するものを追加するため改正しました。

伊達市立学校設置条例の一部を改正する条例

平成22年4月に開園する認定こども園の設置に伴い、平成22年3月31日をもって伊達市立大田幼稚園を廃園するため改正しました。

伊達市都市公園条例の一部を改正する条例

平成22年4月より、保原総合公園多目的広場の夜間照明灯が供用開始となるため改正しました。

伊達市地域活性化対策基金条例を廃止する条例

地域活性化・生活対策臨時交付金事業に充てるため、基金を設置し、事業を実施してきたところでありますが、平成21年度で事業が完了となる

ため廃止しました。

補正予算

平成21年度伊達市一般会計 補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ2億5810万4千円を増額し、予算総額を27億2682万9千円としました。

歳入の主なものは、土地開発公社繰上償還経費6億4096万2千円、震災ハザードマップ作成等の災害対策事業1339万8千円、介護保険特別会計繰出金2608万9千円、減債基金積立金1883万円を増額し、地方バス等運行事業補助2877万7千円、子育て応援特別手当支給事業5939万円を減額しました。

歳入では、地域活性化・公共投資臨時交付金等の国庫支出金484万9千円、安心子ども基金事業補助金等の県支出金5044万7千円、合併特例債等の市債5990万円等を減額し、財政調整基金4億500万2千円を繰り入れます。

債務負担行為については、廃止及び限度額を変更しました。

さらに、翌年度へ繰り越す予算として、地域情報通信基盤整備推進事業、子ども手当システム改修事業、新型インフルエンザ予防接種助成事業など、10事業、7億6326万5千円について、繰越明許費を設定しました。

平成21年度伊達市一般会計 補正予算(第9号)

歳入歳出それぞれ4億673万2千円を増額し、予算総額を275億3356万1千円としました。

なお、増額した予算は翌年度へ繰り越す予算として、低炭素型施設転換事業、生活道路再生事業など、20事業を繰越明許費の設定をしました。

国民健康保険特別会計補正 予算(第4号)

歳入歳出それぞれ1億7054万6千円を減額し、予算総額を73億4063万1千円としました。

老人保健特別会計補正予算 (第2号)

歳入歳出それぞれ944万4千円を減額し、予算総額を1430万8千円としました。

後期高齢者医療特別会計補 正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ442万3千円を減額し、予算総額を6億2931万9千円としました。

介護保険特別会計補正予算 (第4号)

歳入歳出それぞれ1億7478万2千円を追加し、予算総額を48億9406万3千円としました。

梁川簡易水道事業特別会計 補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ116万1千円を減額し、予算総額を1億4747万7千円としました。

公共下水道事業特別会計補 正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ2238万6千円を減額し、予算総額を13億5661万3千円としました。

栗野地区農業集落排水処理 事業特別会計補正予算(第 2号)

歳入歳出それぞれ3万5千

円を追加し、予算総額を2005万6千円としました。

工業団地特別会計補正予算 (第2号)

歳入歳出それぞれ33万4千円を追加し、予算総額を5065万6千円としました。

月舘宅地造成事業特別会計 補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ91万4千円を減額し、予算総額を1048万8千円としました。

水道事業会計補正予算(第 4号)

資本的収入において、1478万7千円を減額、資本的支出で1431万6千円を減額し、補正後の資本的収入を6億3307万8千円、資本的支出を10億4984万円としました。

病院事業会計補正予算(第 2号)

収益的収入において120万7千円を増額、収益的支出において62万4千円を増額し、補正後の収益的収入4億3106万4千円、収益的支出において4億2465万6千円

としました。

つきだて花工房特別会計補 正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ37万4千円を追加し、予算総額を1億2338万7千円としました。

つきだて花工房特別会計補 正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ255万4千円を追加し(繰越明許費)、予算総額を1億2594万1千円としました。

当初予算

平成22年度伊達市一般会計 予算ほか26件の特別会計予 算並びに2件の企業会計予 算

一般会計予算の総額は251億6135万8千円で、前年度当初予算と比較して11億3504万5千円、4・7%の増となりました。

歳入では、長引く景気の低迷により市民税が減収となる見込みなどから、市税においては減額となり、地方交付税は、普通交付税における個別算定経費の増、地域活性化雇

用等臨時特例費の創設などにより増額を見込んでおり、国庫支出金においても、子ども手当の創設、保原小学校改築に係る交付金により大幅な増額となりました。

平成22年度の予算の概要は「伊達市政だより5月号」をご覧ください。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

酒井方子さん（梁川町）、丹治純子さん（靈山町）2名を適任であるとして推薦しました。

副市長の選任同意

小林武正副市長が本年3月31日退任することに伴い、後任副市長に嶋原貞男総務部長を選任することに同意しました。

教育委員会委員の任命同意

伊達市教育委員会委員のうち阿部徳一郎委員及び湯田健一委員が3月24日任期満了となり、後任委員として引き続き阿部徳一郎委員及び湯田健一委員を任命することに同意しました。

監査委員の選任同意

監査委員のうち識見を有する者のうちから選任した阿部忠利委員が3月24日に任期満了となり、後任委員として池田利一氏を選任することに同意しました。

その他

伊達市桑折町国見町火葬場協議会規約の変更

伊達市桑折町国見町火葬場協議会が運営する斎場（桑折斎場）について、使用料の統一化を図り、伊達市民が利用する場合も使用料を無料とする規約変更をしました。

市道路線の廃止

路線認定誤りにより、2路線を廃止しました。

専決処分

福島地方広域行政事務組合規約の一部を改正する規約

地方自治法の一部改正により福島市の収入役が会計管理者に変更されることに伴う同規約の変更をしました。

議員発議

伊達市議会委員会条例の一部を改正する条例

各常任委員会の定数等を減ずる等の改正をしました。

核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の提出について

地上デジタル放送の更なる対策を求める意見書の提出について

選挙

伊達市選挙管理委員会及び補充員

本議会において、次の方が伊達市選挙管理委員会及び補充員に選ばれました。

（任期 平成22年3月7日
～平成26年3月6日）

〔選挙管理委員〕
芳賀 和子（伊達町）

鈴木文一郎（梁川町）
永井 俊博（保原町）
佐藤健治郎（靈山町）

〔補充員〕
順位1 太田正孝（月館町）
順位2 佐藤 衛（保原町）
順位3 古積義久（梁川町）
順位4 佐藤惣洋（靈山町）

3月定例会賛否一覧表

※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

議案等	議員番号 議員名	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
請願第2号 「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出について									
請願第3号 後期高齢者医療制度の即時廃止を政府に求める請願書									
議案第38号 平成22年度伊達市後期高齢者医療特別会計予算									
議案第72号 伊達市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて									
1 佐々木 彰 議員									
2 大橋 良一 議員									
3 小野 誠滋 議員									
4 吉田 一政 議員									
5 堀江 泰幹 議員									
6 欠番									
7 佐藤 実 議員									
8 大橋 一郎 議員									
9 菅野與志昭 議員									
10 中村 正明 議員									
11 安藤 喜昭 議員									
12 高橋 一由 議員									
13 熊田 昭次 議員									
14 清野 公治 議員									
15 佐々木英章 議員									
16 菅野 富夫 議員									
17 原田 建夫 議員									
18 齋藤 和人 議員									
19 半澤 隆 議員									
20 大橋 庄信 議員									
21 東城 藤吉 議員									
22 吉田 賢吾 議員									
23 齋藤 剛一 議員									
24 八巻 善一 議員									
25 松本 善平 議員									
26 菅野 康男 議員									
27 鈴木伊勢吉 議員									
28 安田 豊一 議員									
29 佐藤 勲 議員									
30 滝澤 福吉 議員									
議長は採決に加わらない。									
賛成：反対	賛成3：反対25	賛成3：反対25	賛成25：反対3	賛成22：反対6					
議決結果	不採択	不採択	可決	同意					